

## 令和5年6月15日 庁議議事要旨

	庁議開催日	令和5年6月15日
	開催時間	午前8時30分～午前10時
	参加者	区長、副区長、教育長、区参事、各部長、江戸川保健所長、区議会事務局長、他参与
報告 ①	報告タイトル	財政状況の公表（令和4年度下半期）
	所管部署	経営企画部
	報告内容	令和4年度下半期の財政状況についてとりまとめた。一般会計の補正予算第6号から第12号までの総額は368億9,408万円であり、主な内容は住民税非課税世帯等に対する電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金給付事業費などである。補正後の一般会計予算の歳入は約3,358億円となった。区民一人あたりの負担額は、特別区民税、国民健康保険料、後期高齢者医療保険料、介護保険料のいずれも増加した。土地・建物や基金などを合わせた財産の現在高は計9,216億円であり、公債の現在高は計3億円である。
報告 ②	報告タイトル	「新庁舎基本設計方針」策定・公表
	所管部署	新庁舎・施設整備部
	報告内容	令和2年度に策定した「新庁舎建設基本構想・基本計画」に基づき、このたび「新庁舎基本設計方針」を策定する。これは、新庁舎の設計方針を定め、規模や施設計画などについて具現化したものである。5月に実施した意見募集（パブリック・コメント）の結果を踏まえ、6月30日に策定・公表を予定している。
報告 ③	報告タイトル	江戸川区マンション管理適正化推進計画の策定
	所管部署	都市開発部
	報告内容	老朽化する分譲マンションの増加が見込まれる中、居住者の高齢化などによる管理不全や周辺環境への危害を防止し、区民の安全・安心な生活環境を守るため、「マンション管理適正化推進計画」を策定する。またその対策の一環として、マンション管理計画認定制度を創設する。マンションの長期修繕計画の作成などの認定基準を設け、（公財）マンション管理センターの事前審査を経て認定するものであり、所有者の管理意識の向上などの効果が期待される。7月1日～14日に意見募集（パブリック・コメント）を行い、8月に策定・公表を予定している。
報告 ④	報告タイトル	クールビズの更なる推進
	所管部署	環境部
	報告内容	本区は2月に、都内初の「カーボンマイナス都市宣言」を行った。今後、区民に徹底した省エネ行動を呼びかけていく必要がある。その一環として、クールビズの更なる推進のため、特に暑さが予想される6～9月の期間に、区職員への「ノータイ・ノージャケット」の徹底を行う。通常業務中や区主催イベントに加えて、区が主催ではないイベントについても「ノータイ・ノージャケット」で実施されるよう、主催者に要請や協力依頼を行う予定である。
報告 ⑤	報告タイトル	令和4年度江戸川区の障害者虐待対応状況
	所管部署	福祉部
	報告内容	令和4年度は、養護者による虐待については、通報のあった21件の内、13件を虐待ありと判断した。被虐待者のうち50代以上が5割近くを占めており、養護者の高齢化による支援力の弱まりが読み取れる。障害者福祉施設従事者による虐待については、通報のあった26件の内、11件を虐待ありと判断した。前年度と比較すると通報数・確定数ともに倍以上となっており、身体的虐待だけでなく経済的虐待なども見られる。
報告 ⑥	報告タイトル	新校舎の竣工（篠崎小学校・二之江小学校）
	所管部署	教育委員会事務局、都市開発部
	報告内容	篠崎小学校と二之江小学校の新校舎が竣工した。いずれも、多様な学習環境の確保や、太陽光発電、プール水の利用、自立発電型ガスヒートポンプエアコンの設置などにより防災機能向上を図っている。

## 令和5年6月15日 庁議議事要旨

	庁議開催日	令和5年6月15日
イベント ①	報告タイトル	令和5年度 葛西地区自転車盗ゼロ作戦
	所管部署	危機管理部
	報告内容	6月24日、西葛西駅前や区営駐車場等において、地域・学校・警察・区が協働し、中学生を中心とした自転車盗難の被害抑止の啓発活動を実施する。区内刑法犯認知件数の約3分の1を占める自動車盗難の被害防止とともに、青少年の健全育成を図ることを目的とする。
イベント ②	報告タイトル	第50回 江戸川区福祉作業所合同運動会
	所管部署	福祉部
	報告内容	6月16日、総合体育館において「第50回 江戸川区福祉作業所合同運動会」が開催される。区内福祉作業所から7団体・200名以上の利用者が参加し、スポーツを通じて親睦を深める行事である。
イベント ③	報告タイトル	メタバースを用いたひきこもりオンライン居場所
	所管部署	福祉部
	報告内容	6月から来年3月まで、全6回の日程で、ひきこもり状態の当事者とその家族等を対象に、メタバースを活用したオンライン居場所を開催する。同時にリアル会場での居場所も設け、ファンリテーターを中心に参加者同士で対話する機会を提供し、ひきこもり状態の当事者の段階的な社会参加を目指す。